

夜尿症治療の進歩

vol.13年報/2018.11.1発行

今年で箕面レディースクリニック分院小児科は開院10年を迎えました。
同時に夜尿症治療の領域においてもこの10年間で進歩を続けています。
今回は、その一例をご紹介します。

夜尿症治療は
進歩しています！



1. 抗利尿ホルモン薬の内服薬が処方可能になりました

抗利尿ホルモン薬には尿量を減らす効果があります。
以前の抗利尿ホルモン薬は鼻の粘膜に直接点鼻したり、噴霧する必要があり、
鼻炎の患者さんには使いにくく、また手技の問題で効果も安定しませんでした。
この内服薬により、より簡便に薬剤の効果が期待できるようになりました。

2. 夜尿症診療ガイドラインの改訂

2004年に日本夜尿症学会でガイドラインが初めて作成されました。
その後、夜尿症における薬物治療も進歩し、最新の診療指針となる
ガイドラインが2016年に新たに作成されました。

3. 夜尿アラーム器具の改良

夜尿症治療においてアラーム療法は従来から続けられていましたが、
おむつやパッドから繋がるコードが邪魔で使いにくかった面がありましたが、
コードレスの機器も開発され現在はコードレスのアラーム機器が
主流となってきました。



4. 夜尿症情報の充実

最近夜尿症治療に関連する企業からホームページが運営されています。

代表として…

- おねしょ卒業!プロジェクト【フェリングファーマ社】
- 夜尿症(おねしょ)ナビ【協和発酵キリン社】
- 赤ちゃんのおむつ・おしり研究所【ユニ・チャーム社】 などがあります。

是非、ご覧になってください。



夜尿症は古代ギリシャ時代から記録が残っている由緒ある(?)疾患です。
大昔から世界中で悩んできた疾患ですが、現代でも少しずつ治療は進歩しています。
また、この10年先にも新たな進歩が期待できると思います。
希望を持って受診してみてください。

「おねしょ相談室」診療時間
毎週木曜日15:00~16:30